

研究所便り

しまんと

発行：四万十町教育研究所

第113号（通し番号）
令和7年9月16日 発行

猛暑続きの夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に帰ってきました。あわただしい日々の始まりです。夏期休業中、閉庁期間にエネルギーは溜まりましたでしょうか？なかなか、その時間もなかったという方もいらっしゃるかもしれませんが、健康に気を付け、二学期も頑張っていたきたいと思います。

この夏は、仁淀川町の教職員夏期研修会にお招きいただき、参加させていただきました。

「非認知能力が子どもを伸ばす」という演題で、ALL HERO s 合同会社 代表の中山芳一氏による講演がありました。認知能力を育てるためのコグトレについては認識がありましたが、非認知能力？と少し不思議な感じがありました。認知能力が共通の尺度で点数や数値にして評価・測定できる能力（見える学力）に対して、非認知能力は共通の尺度で点数や数値にして評価・測定できない能力（見えない学力）のことで、非認知能力が育たなかったら、学力を上げることは難しいということでした。では、非認知能力とは？自分を高める力（意欲・向上心・自信・自尊感情・楽観性など）自分と向き合う力（自制心・忍耐力・レジリエンス（回復力）など）他者とつながる力（コミュニケーション力・共感性・社交性・協調性など）のことで、この力を育てることによって、測定できる学力が育つというお話でした。意欲のない子どもたちにどうすれば学力を付けることができるのだろうか？と思った先生方も多いのではないのでしょうか？非認知能力（学びに向かう力）を身に着ければ、認知能力も高まるという話に納得感でいっぱいになりました。中山氏の著作本を数冊購入しましたので、後半で紹介させていただきます。

仁淀川町教育研究所の皆様、講演にお招きいただき本当にありがとうございました。

さて、長い休み明けの児童生徒たちの様子が気になるころですが、いかがですか？教育研究所は変わらず、児童生徒はもちろんのこと、教職員の皆様の支援をさせていただきます。何かありましたら、情報をお寄せくださいますよう、お願いします。

また、様々な場所からの不登校支援があることもお伝えします。

○心の教育センター 相談対応 学習支援 交流活動機会 こころオンラインサポート
ことことパーク ティーンズバース（中高生）

問い合わせ先 （088）821-9909

○高知県立幡多青少年の家 わくわくチャレンジ

問い合わせ先 （0880）44-1001

二学期も教育研究所、教育支援センターをご活用くださいますよう、よろしくお願いします。

教育研究所

☎ 22-3287 内線3310、3311

教育支援センター（かげつ）

☎ 22-0276

〃

（たのの・とおわ）

☎ 27-0131 内線4112

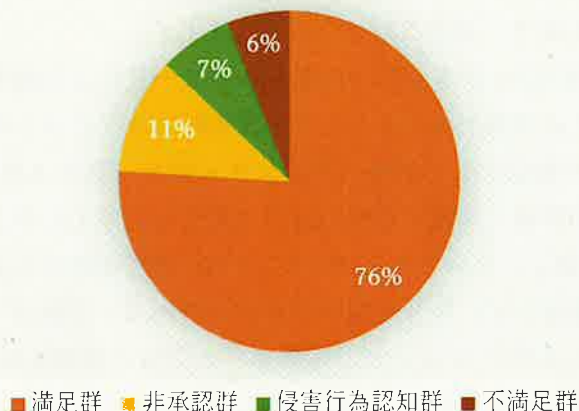
〈教育研究所 所長 野村 泰子〉

令和7年度 Q-U、hyper-QU 1回目アンケートの結果

研究所では、各学校の結果を集計して蓄積し、町内の児童生徒の傾向を把握するようにしています。1学期に実施していただいた1回目の結果（四万十町全体）をお知らせします。夏休みに結果の分析や気になる児童生徒の共有をしていただいた学校も多いと思いますが、意図的な声かけなど全教職員で QU の結果を活用した支援をしていただければと思います。2学期は2回目の実施をよろしくお願いします。

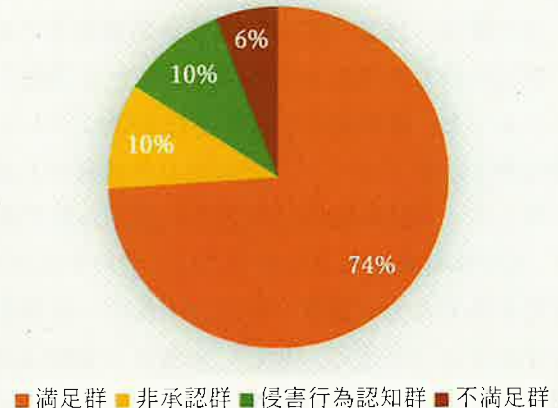
小学校 1回目

小学校 1回目



中学校 1回目

中学校 1回目



- ・今回は小学1年生が実施しなかった学校が4校ありました。
- ・令和6年度実施の学級生活満足群の割合は、小学校では72%、中学校では68%でした。
- ・小学4年生以上を対象としたインターネットに関する質問「ネット上で友人から悪口や嫌なことをされる」「ネット上で仲間外しや無視される」について、ごく少数ですが、「とてもそう思う」「少しそう思う」と答えている児童生徒がいました。

新しい本の紹介

初めに紹介した中山氏の著書が研究所に入りました。郵便で学校へお返しすることもできますので、読んでみたい方はぜひ研究所へご連絡ください。



←【2024年発行の新書】

漫画になっているため、短い時間で非認知能力についての概要が理解できるのでお勧めです。

【学校現場での実践を理論的に】→

非認知能力について、理論からしっかりと理解するのにお勧めです。

